



編集後記

●ホトトギスは、他の鳥の巣に卵を産み、子育てをその巣の主任せにする。
●19ヶ国語に触れる機会を持つようになった。マルチリンガルとはほど遠いが、映画を見て、トルコ語とか、ロシア語のセリフを聞き分けられるようになった。
●自転車では峠を越えた。山から、ホトトギスの声が聞こえてくる。いきなり「チャットトチガオ」と聞こえた。台湾語で「どうぞよろしく」。卵の面倒をどうぞよろしくと鳴いているのだろうか？

蕎麦職人

やませみ

55

発行日/2009年6月1日
編集・発行/NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会
事務局/TEL042-974-1691(浅野正敏)
埼玉県飯能市柳町18-17

- 申し込み用紙や機関誌「やませみ」は「銀河堂」「Café豆さる」にあります。
- 「やませみ」へのご意見をお寄せください。投稿もお待ちしています。
URL=<http://www.tenranzan.com/>
E-mail=tenta@tenranzan.com

会費募集中!!

1995年2月、巨大住宅団地開発の計画がきっかけで発足した「NPO法人天覧山・多峯主山の自然を守る会」は、この地の自然をいつまでもという思いで、様々な活動を続けています。どうぞあなたも会員になって活動を支えてください。

*年会費

- 正会員.....普通会員 2,000円
特別会員10,000円
- 賛助会員.....1口10,000円

*会費・カンパ送り先

郵便振替口座「NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会」00580-9-16342

日よう日ふる里散歩

当会では天覧山周辺の自然に親しんでいただくために毎月「ふる里散歩」を開催しています。お気軽にご参加下さい。

◆6月28日(日) 「ほたるの夕べ」の巻

(要申込み 先着30名)
集合/能仁寺山門前 午後7時
持ち物/長靴・懐中電灯
参加費/大人300円 子ども100円
同合せ、申込み先 (042-974-1691(浅野))



◆7月19日(日) 「国蝶オオムラサキを見よう」の巻

(要申込み 先着20名)
集合/飯能市中央公民館
午前9時(午前中で終了)
持ち物/長袖・長ズボン・帽子
(蜂対策で黒色避ける)
参加費/200円
同合せ、申込み先 (さいたま緑のトラスト協会:
048-824-3661)



◆8月9日(日) 「名栗川を歩いてみよう」の巻

集合/能仁寺山門前 午前9時半
持ち物/川を歩ける服装(運動靴で)
着替え・飲み物・お弁当
参加費/大人300円 子ども100円



◆9月13日(日) 「谷津田でボランティア体験活動」の巻

集合/能仁寺山門前 午前9時半
持ち物/飲み物・お弁当
参加費/大人300円 子ども100円



★いずれも雨天中止

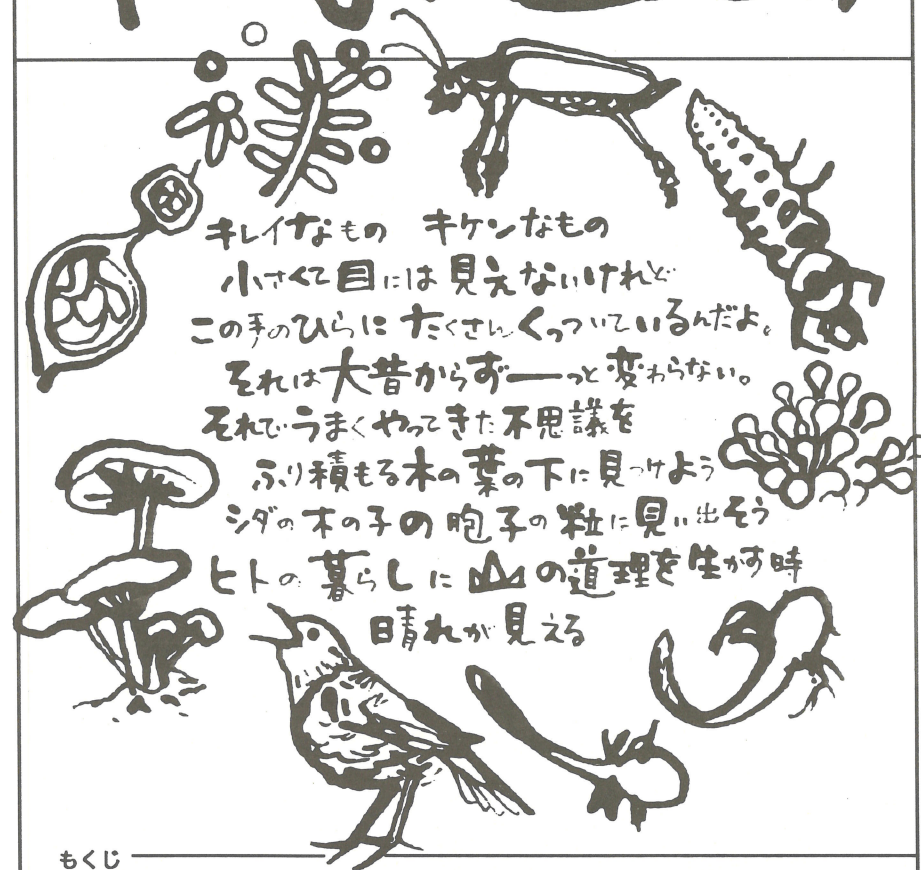
共催/はんのう景観トラスト、
(財)埼玉県生態系保護協会飯能名栗支部
はんのう市民環境会議



NPO法人 天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

No. 55
2009.6.1

やませみ



もくじ

- 天覧入りに田んぼができました/高沖義則(はんのう市民環境会議 会員)
- てんたの里山基金トラストコンサート報告/浅野正敏(てんたの会 代表)
- 第10回さいたま環境賞受賞!/浅野正敏(てんたの会 代表)
- 天覧山・多峯主山の四季〜新緑の鳥たち/市川和男((財)日本生態系協会 会員)
- カエルの歌がきこえてくるよ.../山梨光明(てんたの会 会員)
- 天覧山・多峯主山の裏は今どうなっているか/大石 章(てんたの会 会員)
- 鳥獣図・てんたの里山基金寄付のお願い
- 日よう日ふる里散歩のおしらせ●やませみ掲示板●編集後記

天覧山・多峯主山の自然を守る会HP

<http://www.tenranzan.com/>

※当会のホームページへどうぞおいでください! <http://www.tenranzan.com/>



天覧入りに
田んぼが
できました。

生物多様性の重要性から、里山の保全が見直されています。はんのう市民環境会議が進める「天覧山谷津の里づくりプロジェクト」も、この流れに沿って以前の里山景観を復元しようとするものです。

景観緑地でもある天覧山谷津は稀少動植物が豊富です。このため、整備は動植物保全と景観確保の双方を満足させる方向で、皆で話し合いながら進めています。絵を描いてみる、気に入らなければ描き直す今のやり方は、楽しみを共有できます。汗をかきながら葦の根を掘り起こす作業も、草刈や畔づくりも、田んぼの

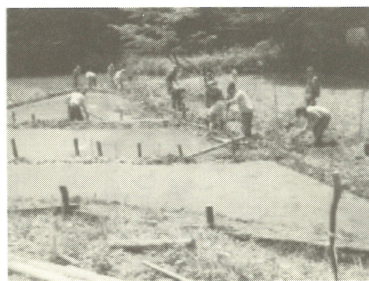
たちが見えてくれば、汗の量は達成感に変わります。月一回の作業は、4月で5回目ですが、いくつかの田んぼが出来ました。5月には田植えが出来そうです。

イノシシに米(作物)を先取りされるようなことがなければ、何年か先には、細い棚田が奥まで続き、蛙が鳴き、稲の育つ水面ではメダカやミズスマシが泳ぎまわり、トンボやチョウそれにホタルが飛び交い、カヤネズミはいつもと変わらぬ巣づくりをしている活きた谷津田が蘇えることでしょう。

(はんのう市民環境会議/高沖義則)



田んぼづくり(2月)



田んぼ完成(4月)

てんた里山基金の ラストコンサートの ご報告

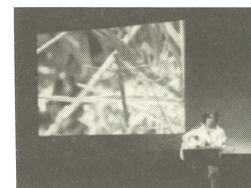
2007年3月よりスタートしました「てんた里山基金」が目標額(100万円)に近づいてきたことから、ラストスパートのつもりで基金目標達成を願うコンサートを開催しました。

4月19日(日) 飯能市民会館小ホールを貸切つての本格的コンサート。ロビーでは、当会が実施している動植物の調査の写真展示やネットワーク協力団体販売コーナーなどを設け、賑わいをみせました。第1部には飯能市内在住のフオークデュオ「ありんこ」で、迫力のある歌声で熱唱。第2部では、同姓同名の二人の市川和男さんに

第1部の出演者「ありんこ」の二人。熱唱に場内の皆が聞き入っていました。



第2部は同性同名の二人の市川和男による、音楽と映像のコラボレーション



第3部は「美女と野獣&姉さん」ピアノとフルートによるクラシックアンサンブル。エンディングは故郷の四季をテーマにした組曲でラストコンサートを締めくくりました



よる歌と映像のコラボレーション。天覧山周辺に生息する生き物たちの美しい映像と調和する歌声で感動を頂きました。第3部ではピアノとフルートによるクラシックアンサンブルでの演奏。最後に優雅なひとときを味わうことが出来ました。

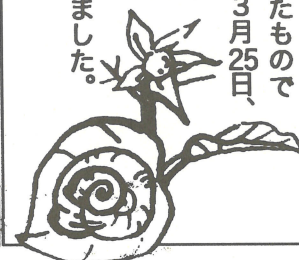
3組のすばらしい演奏でしたが、当会の力不足から入場者数が100名に達せず、残念ながら、収益を「てんた里山基金」に繰入れるまでに至りませんでした。御協力いただきました方々に、お礼申し上げます。(代表理事/浅野正敏)

第10回さいたま環境賞を 受賞しました

環境保全に貢献している団体、個人、事業者を選んで表彰する



事業を埼玉県が毎年実施しています。平成20年度で第10回になる「さいたま環境賞」を当会が受賞しました。県民部門(団体、個人)での受賞は、飯能市においては当会が初めてになります。発足以来14年間、天覧山・多摩主山一帯の自然環境の保全に尽力してきたことが認められたものです。去る3月25日、知事公館にて上田知事から表彰されました。



新緑の鳥たち



トラツグミ

5月に入ると新緑も一層濃くなり、夏鳥たちのさえずりが聞かれるようになりました。林床にシダなどが茂るやや暗い樹林からは「シシシシシ...」と虫の声にも似たヤブサメが鳴き出し、明るい雑木の中からは「ピッコロ、ポッピリリ」とキビタキがさえずり始めています。谷の斜面からは「ドドド...」と低くこもったヤマドリのはる打ちも聞こえてきました。

谷戸の樹林に沿って細い道を進んでいくと、突然一羽のヤマドリがこちらに向かって飛び出しました。綺麗な長い尾を持った雄のヤマドリです。そしてその後ろからもう一羽がこれを追うように飛び出してきました。ヤマドリは人間のいることなどに気にする様子もなく、私の手が届きそうな目の前を通過して谷の奥へと入って行きました。繁殖に最適な環境を得るための雄どうしの縄張り争いなのでしょう。

コナラやヤマザクラなど明るい落葉広葉樹の道を通ぎ、スタジイやアラカシなど林床の暗い照葉樹に入る林縁に何か動くものを見つけた。立ち止まり、双眼鏡で確認すると黄色と白と黒のまだら模様のトラツグミです。トラツグミは飯能周辺には一年中みられるツグミの仲間、朝夕の薄暗い時間に「ヒューン、ヒューン」という声で鳴くために「鶉（ぬえ）」として妖怪扱いされていたこともあります。実際はおっとりとした性格で野鳥観察者にはとても人気のある鳥なのです。トラツグミはトコトコツと歩いては止まり、体を少し低くすると小刻みに震わせます。すると、不思議なことに落葉の間からミミズが顔を出してきました。トラツグミはこれを嘴で引っ張り出すと、ミミズを嘴に咥えながら次の場所へと向かい、同じ動作を繰り返していきます。トラツグミは嘴がミミズでいっぱいになると暗い茂みの中へと羽ばたいて行きました。トラツグミも子育ての時期を迎えています。

(財)日本生態系協会 市川和男

天覧山・多峰主山の裏は 今、どうなっているか。

ふる里散歩では、能仁寺に集合し、多峰主山まで登って降りてくるパターンが多く、あまりその北側を歩くことはありません。

ふる里散歩がコンサートでお休みの4月初旬、天覧山裏から北方向に獣道を降りてみたら、紆余曲折、最終的には西武鉄道車両基地のある北側登山口へ出ました。



登山口からすぐ右に造成地へ登る道があり、登ってみると細いヒノキが植えられた奥はまっさらで、ホオジロがさえずっていました。西武鉄道が、市民環境会議メンバーとの意見交換を受け、5月に社員による広葉樹（ハンノキやヤマハンノキ）の植樹を予定しているとのこと。



元に戻って、多峰主山へ向かうハイキング道を行くと、

両側が植林地で、新しい植林地はヒノキと広葉樹が交互に植えられています。西武鉄道が所有者の意向を踏まえて、広葉樹にはクヌギ、コナラ、エノキ、ケヤキを植えているとのこと。右側は間伐をして整備された林になっています。



やがて東急高麗団地に突き当たり、そこから二股に分かれてどちらも多峰主山への登



り道になります。団地に沿った道を登ると、団地と山並みが見渡せる高台に出て、早春の萌黄色と針葉樹のパッチワークがきれいです。

多峰主山頂はハイカーで賑わい、その足下をヒオドシチヨウが飛び交い、ミヤマセセリがアラカシの新芽に産卵し、フデリンドウも顔を覗かせています。(会員 大石 章)

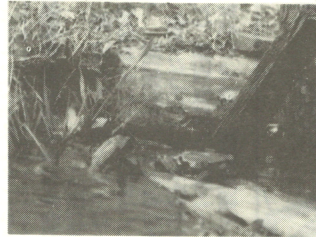


1月中旬、谷津田から奇妙な声が聞こえてくる。「キュロロ、キュロロ」アカガエルが鳴きだす。声を頼りに近付くと、びたっと鳴き止んでしまう。その場で身動きせずじっとしているとまた鳴きだすが、姿が見えない。数日後、そこには無数の卵塊が点在していた。このキュロロの声はやがて散発的になって聞かれなくなる。

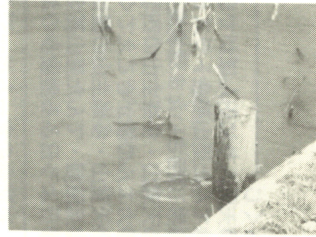
3月も後半、今度はぐつと低い声がある。「ググッ、ググッ、ググッ」、バシヤバシヤと水音も混じって池は何やら騒がしい、ヒキガエルの産卵行動



池には山じゅうの雄ヒキガエル（ガマガエル）が集まって、今や遅しとその時を待っていた。



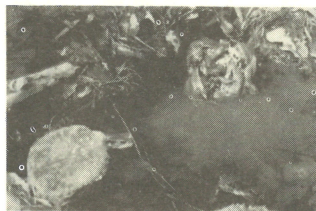
そこに雌ガマ到来の報が流れる。「オイ、美ガマがきたらしいぞ」



「どこだ、どこだ〜美ガマはどこだ〜」



すでに合戦は始まっていた。7、8時が団子状、かまわずわり込んで行く「何する俺のもんだぞ」「そうはいかぬ奪い取ってやるう」



一進一退の攻防に疲れ戦線離脱。「俺もう疲れた、一休みしよう」（こいつら少ししてまたトライしていった）



ようやく2匹きりになって「あ〜あ、とんだめにあったぜ、ったく」翌日池にはひも状の卵塊が静かに沈んでいた。

が始まったのだ。彼等に気付かれないように身をかがめ、忍び寄って行くと、周りの山のヒキガエルが一斉に池に飛込んだらう、ざっと数えても50匹を越えた。池は波立ち、バシヤバシヤと水音をたてていたのは雄同士が合戦を始めたのだ。そう、これがカエル合戦、雄は雌それにかまわず近くのカエルに抱きつく。そんな中、私の存在など気にせず、ボールのように固まっている連中がいた。中心には雌がいるのだろう。雌にうまく抱きつけた奴の間に無理矢理入り込もうと何匹もが絡み合っ

カエルのうたがきこえてくるよ

「コロコロ」ところがっていた。産卵のとき「コロコロ」に雌は数匹しかいないという、雌を奪いあっているのだ。数日後、池には一面に紐状の卵塊があった。

4月になると、「ケケケケ、ケケケロケロ」とシユレーゲルアオガエルの甲高い声が、水を張った田んぼの周辺から谷津中にこだまする。還がよければ、白い泡状の卵塊が見られるだろう。同じ頃、清流では「フィフィフィッフィー」と美しい声が谷間に響き渡る。カジカガエルが流れの中の石の上

で、顎の下の鳴のうを一杯膨らまして、雌に氣にいられようと鳴き続ける。やがて田植えも終わり、梅雨に入ること「ケケケケケ」とニホンマガエルだ。このカエルは、繁殖期以外でも気圧の変化に反応し、低気圧が近付くと興奮して鳴く、雨になると鳴きだすのはこのためだ。

春先から夏にかけて谷津田の周辺では様々なカエルの歌が聞こえてくる。いつまでもこの環境を守って行きたいものだ。(会員 山梨光明)

「奥武蔵鳥獣図」 「てんた里山基金」にご協力ください。

パノラマ風景画家、友利宇景氏制作による「奥武蔵鳥獣図」ができました。名栗湖を通過して飯能市内を流れる名栗川と、巾着田に注ぐ高麗川の流れに挟まれて秩父へと続く山々が、飯能上空から一望するように描かれています。飯能の街のようすや、歩いた山の位置などをもう一度確かめてみませんか。

飯能市内の「めいわどう」(TEL042-972-2010)で販売しています。

郵送ご希望の方は10枚まで送料800円でお送りします。郵便振替での入金確認次第発送します。下記振り込み口座へ「鳥獣図何枚希望」と明記の上ご送金ください。



てんた里山基金寄付として
1部1000円

(B2版/タテ728mm ×ヨコ515mm)
*寄付金はすべて当会の自然環境保全のための活動資金に充てられます。

「てんた里山基金」郵便振替口座
.....
名称/NPO法人 天覧山・多峰主山の自然を守る会
口座番号/00580-9-16342

「てんた里山基金」とは？

てんたの会では天覧山北東側にある谷津田「東やつ」を買収して、里山環境の保護活動を実践して行こうというナショナルトラスト運動を進めています。そのために「てんた里山基金」を設立しました。里山基金へのご寄付も受け付けております。お振込は上記へお願いいたします。

